

## 公立大学法人横浜市立大学 第3期中期目標素案の概要について

### 1 第3期中期目標の概要

#### (1) 教育に関する目標

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
①教育の質の保証・向上	<p>◆教育の質の保証・向上を目指すため、卒業生の明確な到達目標（ディプロマポリシー）、その目標達成のための教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）、及びそれらに基づく教育内容等を踏まえた入学者の受入方針（アドミッションポリシー）を一体的に策定し、それに沿って大学を運営する。</p> <p>◆市大の持つ強みや特色をさらに伸ばし、時代の要請に応える人材育成や国際的にも通用する教育水準を有する魅力ある大学を目指し、教育環境の整備をさらに推進する。</p> <hr/> <p>ポリシーに沿った教育の推進／入試改革への取組／キャリア教育の充実／領域横断的な教育体制の確立／学部教育と大学院教育接続の再検証／学術情報の提供・利用環境の充実 等</p>
②時代の変化に対応した学部のあるあり方検討	<p>◆自ら課題を見つけ探求する姿勢と、様々な問題を解決する能力を備え、国際社会で活躍できる基礎となる幅広い教養と豊かな人間性・倫理観を養うことを目指し、共通教養教育を充実させる。</p> <p>◆学生が卒業後、自らの資質を向上させ、社会的・職業的自立が図れるようキャリア教育の充実に取り組む。</p> <p>◆国際社会で活躍するため、グローバルな視野を有し、幅広い教養と専門能力を兼ね備えた人材及び地域の課題解決に取り組むことの出来る人材を育成するための教育を行う。</p> <p>◆時代の変化や学生の多様なニーズに柔軟に対応した教育組織のあり方について検討を進める。</p> <hr/> <p>アクティブラーニングを主体とした教育の充実／英語教育のさらなる充実／ICTリテラシー等情報カリキュラムの充実／グローバル化を見据えた学事暦の検討／国際総合科学部のこれまでの成果や課題を踏まえた今後のあり方についての検討 等</p>
③新たな医療・福祉ニーズに応える医療教育の提供	<p>◆県内唯一の医学部を擁する公立大学として、救急医療や医師不足診療科等の課題への対応や、市域・地域の医療体制への貢献を目指した医学教育の実践及び体制の強化を行う。</p> <p>◆超高齢社会の到来による新たな医療・福祉ニーズや医学教育の国際基準への対応についても充実させる。</p> <hr/> <p>グローバルスタンダードに準拠した医学教育の提供／きめ細やかな学生指導等を通じた国家試験対応／地域ニーズに応える医療人材を養成するカリキュラムの提供／市内医療機関で活躍できる看護職員の育成 等</p>

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
④大学院教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き、領域横断的な教育研究を推進するとともに、地域や社会のニーズに応じた人材育成に対応するため、柔軟な体制を構築する。</li> <li>◆他大学との差別化を図るための特徴的な教育体制を構築し、高度な学術研究の成果を地域社会、さらには世界へ発信できる人材を育成する。</li> <li>◆生命科学の基礎に立脚して先端的な医療を支える高度の専門的職業人を育成する。また、高度の学術研究を行い、その成果を地域社会、更に世界に発信できる人材を育成する。</li> </ul>
	特徴ある研究テーマの設定／学部との連携を見据えた6年一貫教育／社会人教育の充実／理化学研究所との連携強化／優秀な看護人材育成の推進 等
⑤学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学生の学習成果の最大化を図るため、学習環境の整備、キャリア開発支援、学生の地域貢献活動の支援等を充実させる。</li> <li>◆市大の存在価値を高める優秀な学生を確保するために経済的支援の充実に取り組む。</li> </ul>
	インターンシップの拡充／キャリア形成科目の充実／学習環境の整備、経済的支援等の充実／モラル意識の醸成、社会性の向上への寄与 等

## (2) 研究の推進に関する目標

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
①研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市大の強みとなる研究分野を戦略的に推進し、世界レベルの拠点となるよう取組を進める。</li> <li>◆研究支援体制の充実を通じて、大学全体としての研究水準の底上げにも努める。</li> </ul>
	強みとなる研究分野の戦略的推進／大型外部研究資金の獲得／基礎研究力の強化／若手・女性研究者の支援の充実／学内共同研究の活性化 等
②橋渡し研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆先端医科学研究センターを中心とした橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)体制の充実により、基礎医学で得られた優れた成果を臨床現場で実践できる医療技術に橋渡ししていくための研究をさらに推進し、外部研究費の獲得、産学連携の推進等を通じ、高度かつ先進的な医療の提供に寄与する。</li> </ul>
	研究成果の早期還元を目指した研究の推進／大型外部研究資金の獲得／積極的な情報発信による市大のプレゼンスの向上 等
③臨床研究ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆臨床研究中核病院の早期指定に向けた取組を推進するため、臨床研究ネットワークの効果的な活用や、研究支援体制の充実に取り組む。</li> </ul>
	臨床研究中核病院指定に向けた取組／臨床研究支援体制の充実／治験受入の促進 等
④がん研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「横浜市がん撲滅対策推進条例」も踏まえたがん研究を推進し、先進的な治療法の早期実現に向けた取組を積極的に推進する。</li> <li>◆地域がん診療連携拠点にも指定されている附属2病院での豊富な症例も活用し、がん研究を推進する。</li> </ul>
	先進的ながん治療につながる研究の加速／研究成果の市民還元／研究の市民に対する広報活動の充実 等

(3) 地域貢献に関する目標

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆横浜市民に支えられた大学として、地域貢献を全教職員の責務とし、学部・大学院教育を通じて国際都市・横浜の次世代を担う人材を育成するとともに、診療、医療人材の育成、研究を通じた市民医療の向上により市民生活に貢献する。</li> <li>◆大学の知的資源を活用した生涯学習の機会の提供に加え、市への政策提言など、市内企業との共同・受託研究等の産学連携の推進、多文化共生・地域経済の活性化等の大都市共通の課題及び地域に根差した課題の解決に資する取組を拡大するなど、大学の研究成果を地域に還元する取組を推進する。</li> <li>◆横浜市が有する大学として、市施策推進への貢献や市内他大学との連携を通じて、地域への貢献をより一層推進する。</li> </ul> <hr/> <p>学生のボランティア活動・課外活動の支援／市のシンクタンク機能の発揮／市民向け教育の充実／市内他大学との連携推進／地域医療連携の充実／地域医療人材の育成への寄与 等</p>

(4) 国際化に関する目標

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
国際化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国際社会に開かれた大学として、国際競争力を有し、多くの留学生にも選ばれる教育水準や教育研究環境を有した大学づくりを推進する。</li> <li>◆相互交流等を通じ、学生が国際的感覚を養い、幅広い視野を持ったグローバル人材の育成を推進する。</li> <li>◆アカデミックコンソーシアムによるネットワークの活用や横浜市の国際施策との連携による国際交流・国際貢献を推進する。</li> </ul> <hr/> <p>留学生の受入拡大と体制整備／海外派遣プログラムの充実／柔軟な学事暦の設定／協定校拡充による相互交流の拡充／アカデミックコンソーシアムの更なる充実／市の国際施策との連動した取組の推進 等</p>

(5) 附属2病院に関する目標

主なテーマ	中期目標での記載【下段：想定される取組】
①政策的医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆産科・小児医療、救急医療体制の充実、地域の医療機関との連携強化、専門性の高い医療の提供等、横浜市が行う政策的医療に積極的に取り組む。</li> <li>◆超高齢社会における医療ニーズの変化、がん医療、災害医療への対応など、社会の要請にも応える医療の提供に努める。</li> <li>◆二次救急や高度救命救急、がん医療、周産期医療等附属2病院の特色や役割を明確にし、それぞれの強みの発揮による連携強化を通じ、質の高い医療提供に取り組む。</li> <li>◆県内唯一の公立大学附属病院として、高度な医療が必要な患者に対して、適切に提供できるよう地域の医療機関との連携や機能分担を進めるなど、体制の整備に取り組む。</li> </ul> <hr/> <p>政策的医療の提供／2病院の役割の明確化／大学病院としての高度医療の提供／地域医療構想も踏まえた医療ニーズに的確に対応した診療機能の充実 等</p>
②医療人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「新たな専門医制度」にも適切に対応するなど、引き続き、地域医療に貢献する医療人材の育成・確保に取り組む。</li> <li>◆良質なチーム医療を推進するため、コメディカルや事務職も含めた医療人材の育成・確保や労働環境の整備についても取り組みを推進する。</li> </ul> <hr/> <p>新専門医制度へ対応するための優れた指導医の確保／協力病院との連携／専門・認定看護師の育成／優れた医療スタッフの確保／女性スタッフの復職支援／魅力ある実習・研修プログラムの整備 等</p>

<p>③地域医療</p>	<p>◆横浜市が構築する「地域包括ケアシステム」の中で、地域の医療機関と連携を推進するとともに、附属2病院それぞれの強みを活かした役割を担う。</p> <p>◆社会への説明責任を果たすため、病院全体に対する評価結果等の情報提供を引き続き推進する。</p> <p>◆市民向け講座の充実や広報の強化など医療に関する情報発信を積極的に行い、市民の健康意識を高めるとともに、大学のプレゼンス向上にも寄与する。</p> <hr/> <p>地域医療機関との連携強化・機能分化／地域医療人材の育成への寄与／市民向け医療講座の実施／診療実績等の発信 等</p>
<p>④先進的医療・研究</p>	<p>◆医学部・医学研究科や先端医科学研究センターと連携し、先進的な医療を行うための研究及び技術開発を積極的に行い、大学病院としての特性を発揮する。</p> <p>◆臨床研究ネットワークや国家戦略特区の効果的な活用などにより、臨床研究中核病院の早期指定に向けた取組を推進する。</p> <hr/> <p>高度先進医療の研究推進／先進医療の取得・実施／臨床研究中核病院指定に向けた取組／国家戦略特区の活用／臨床研究支援体制の充実／積極的な情報発信 等</p>
<p>⑤医療安全・病院運営</p>	<p>◆患者が満足度の高い医療を受けられるよう、患者目線に立った医療環境の整備に取り組む。</p> <p>◆客観的な指標を用いるなどして、医療の質の向上を図るとともに、安定した経営基盤の確立に向け、経営の効率化に取り組む。</p> <p>◆市民からの信頼の一層の向上に向け、病院長によるガバナンスの強化等により、運営体制を一層強化し、さらなる医療安全管理体制の充実に取り組む。</p> <hr/> <p>入退院の支援体制の充実／医療機器の効率的な活用／附属2病院間の情報インフラの共有／経営指標等の整備・分析／人件費管理の徹底／チーム医療の推進／医療安全文化の醸成 等</p>

(6) 法人の経営に関する目標

<p>主なテーマ</p>	<p>中期目標での記載【下段：想定される取組】</p>
<p>①ガバナンス・コンプライアンス</p>	<p>◆法人全体のコンプライアンス意識をさらに徹底するとともに、組織体制の見直しも含め、理事長・学長を中心としたガバナンスをさらに強化することで、市民の信頼を一層向上させる取組を強力に推進する。</p> <p>◆学生のみならず教職員も含めた法人全体としての危機管理体制について検証を行い、社会情勢の変化に対応した体制や仕組み等を構築する。</p> <hr/> <p>不祥事が起こらない、起こさない職場風土の構築／監査機能の強化／意思決定の迅速化／危機管理対策の推進 等</p>
<p>②人材育成・人事制度</p>	<p>◆時代の変化に対応した組織体制や優秀な教職員を育成・確保するための制度等を引き続き検討するとともに、女性活躍の視点をはじめ、全ての教職員活躍のための制度等も併せて検討する。</p> <hr/> <p>教員SD制度の実効性のある運用／海外派遣制度の拡充／職員のキャリア形成支援／ダイバーシティの推進／ワークライフバランス 等</p>
<p>③大学の発展に向けた環境整備</p>	<p>◆大学としての教育研究環境、また大学病院として高度で先進的な医療を提供し続けるための機能を維持するために中長期的な視点をもって、施設や機器整備等の環境整備に努める。</p> <p>◆今後の社会情勢や横浜市政の状況を見据えた長期的視点を持ったうえで、市政への貢献や大学の更なる発展に向けた取組を推進する。</p> <hr/> <p>ICT人材の育成・スキルの向上／施設マネジメントの推進(八景キャンパス)／附属2病院の再整備構想の検討／卒業生との関係強化 等</p>

④情報管理・発信	<p>◆教育研究活動や経営管理の透明性を確保し、社会への説明責任を果たすため積極的な情報公開を推進するとともに、個人情報及び法人情報の管理体制を更に充実させるための具体的な仕組みづくりを進める。</p> <p>◆経営判断に必要なデータを適切に収集・蓄積する。</p> <p>◆市大の強みや特色が広く社会に認知され、市民からの信頼や大学の魅力向上につながる効果的な情報発信を行う体制、手法を構築する。</p> <p>-----</p> <p>アピールポイントの明確化／戦略的な広報の推進／卒業生の関心の高い情報発信、交流会の実施等</p>
⑤財務内容の改善	<p>◆中期目標を達成するため、算定基準に基づき運営交付金を交付し、法人は、運営交付金の活用等により適正な収支バランスを確保し、中期目標を達成する。</p> <p>◆「県内唯一の医学部を擁する公立大学」であることを鑑み、高額な医療機器の整備については、予算の範囲内で整備費を貸し付ける。償還にあたっては、公営企業の性格上、市立病院に一般会計から繰り入れられているものについては、同様に国の定める基準等に準拠する。</p> <p>◆自己収入の拡充に向け、国等の大型プロジェクト研究費や受託研究費及び民間機関等との共同研究費の確保等、引き続き、外部資金の獲得に積極的に取り組み、多様な収入の確保に努める。</p> <p>◆卒業生へのアプローチの改善等、寄附金のさらなる拡充に向けて取組を推進する。</p> <p>◆理事長・学長がリーダーシップを発揮し、中長期的な視点を持って経営の効率化を図り、健全かつ安定した大学運営に向けて経営基盤の強化に取り組む。</p> <p>-----</p> <p>外部資金獲得の促進／卒業生等からの寄附拡充策の推進／効率的な運営による経常的経費の削減／経営の効率化による適正な収支バランスの確保等</p>
⑥自己点検・評価	<p>◆目標ごとに具体的な達成指標を設け、中期計画、年度計画等の進ちょく管理を行い、自己点検及び自己評価を正確に行うとともに、横浜市公立大学法人評価委員会や認証評価機関からの評価結果を公表し、適切に大学運営と教育研究活動の改善及び充実に取り組む。</p> <p>-----</p> <p>数値目標を設定した各種取組の進ちょく管理／評価結果等の公表等</p>

## 2 今後の策定スケジュール

9月 ・ 市民意見聴取

10月 ・ 法人評価委員会 （目標原案確定に向けた法定意見聴取）

11月 ・ 中期目標原案について法人へ提示・法定意見聴取

12月 ・ 市会定例会 （目標案を議案として提出）

1月 ・ 中期目標を市大へ指示 ⇒ 法人が策定した中期計画案の認可申請

2月 ・ 法人評価委員会 （中期計画案の法定意見聴取）

3月 ・ 市会常任委員会 （中期計画案の報告）  
 ・ 中期計画市長認可